

(別紙)

イ号物件目録

ガスツール専用の連結ピンであるロ号物件を構成する合成樹脂製のストリップであって、イ号図面に示すとおり、

1. 左右方向に並列に並んだ10個の筒状のスリーブ3を有しており、各スリーブ3は、ピンが嵌まる貫通孔4が上下に開口していて略筒状の形態を成しており、
2. 各スリーブ3は、ピン2の差し込み方向(図1及び図5の矢印A方向)から見て前方の部分に位置した円筒状の第1部分5と、この第1部分5と一体に繋がっている第2部分6とを有しており、
3. 各スリーブ3の各第2部分6には、当該第2部分6を第1部分5から区画する前後一对の凹所7が形成されており、
4. 各凹所7の奥部には、貫通孔4と連通した窓8が空いている、
5. 第2部分6のうち凹所7の上方の部分の前面と後面とは平坦面9になっており、このため第2部分6は平面視で略小判形の形態を成しており、
6. 各スリーブ3における第2部分6の上端面6aには、スリーブ3の並び方向と直交した方向に延びる一对のV形の溝10が形成されており、
7. 隣合ったスリーブ3の第1部分5は下側ブリッジ部11で連結され、隣合ったスリーブ3の第2部分6は上側ブリッジ部12で連結されており、
8. スリーブ3の並び方向に沿った全長L0は約67mm、各スリーブ3の軸方向の長さL2は約10mm、第1部分5の外径D1は約6.5mmである、という構成を備えている、ガスツール専用の連結ピンであるロ号物件を構成する合成樹脂製ストリップ(ピン保持帯)。

【備考】

- (1). ピン2を仮想線で示しているが、これはストリップの形態の把握の便宜のためであり、本物件においてピン2は構成要素ではない。
- (2). イ号物件の構成を特定するために上下・前後・左右の方向を使用しているが、この方向に関する表示は図5に示すとおりであり、人が正面図と対向して見た状態を基準にしている。

イ号図面説明書

- 図1は、ストリップの正面図である。
図2は、ストリップの平面図である。
図3は、ストリップの底面図である。
図4は、ストリップの側面図である。
図5は、ストリップの斜視図である。
図6は、ストリップの部分的な拡大正面図である。
図7は、図2におけるB部のVII-VII視断面図である。
図8は、図1のVIII-VIII視断面図である。
図9は、図1のうちB部のIX-IX視断面図である。
図10は、図1のうちB部のX-X視断面図である。
図11は、図1のうちB部のXI-XI視断面図である。

背面図は正面図と同一、左右の側面図は同一である。

符号の説明

- | | | | |
|----|-----------|-----|--------------|
| 1 | ストリップ | 3 | スリーブ |
| 4 | 貫通孔 | 5 | スリーブの第1部分 |
| 6 | スリーブの第2部分 | 6 a | 上端面 |
| 7 | スリーブの凹所 | 8 | スリーブの窓 |
| 9 | 平坦面 | 10 | スリーブの上端面のノッチ |
| 11 | 下ブリッジ部 | 12 | 上ブリッジ部 |

1号図面

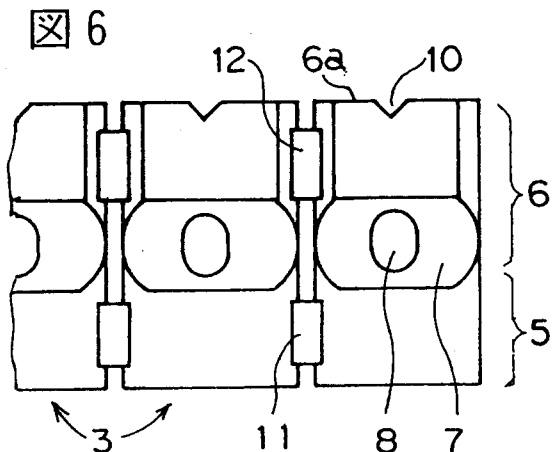
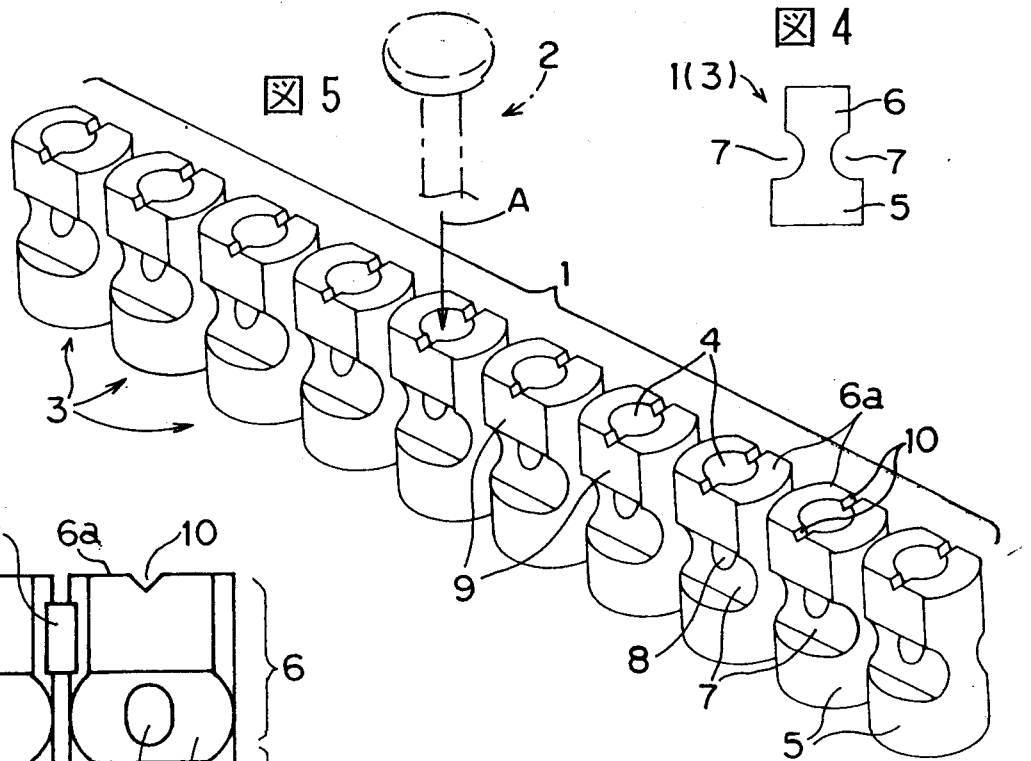
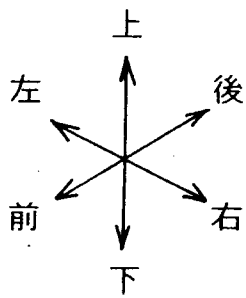
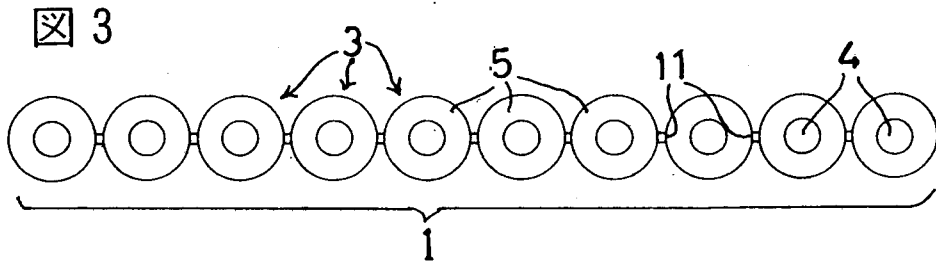
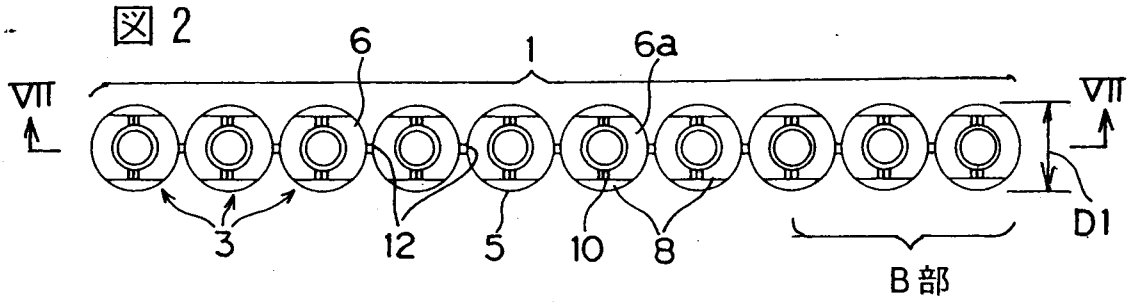
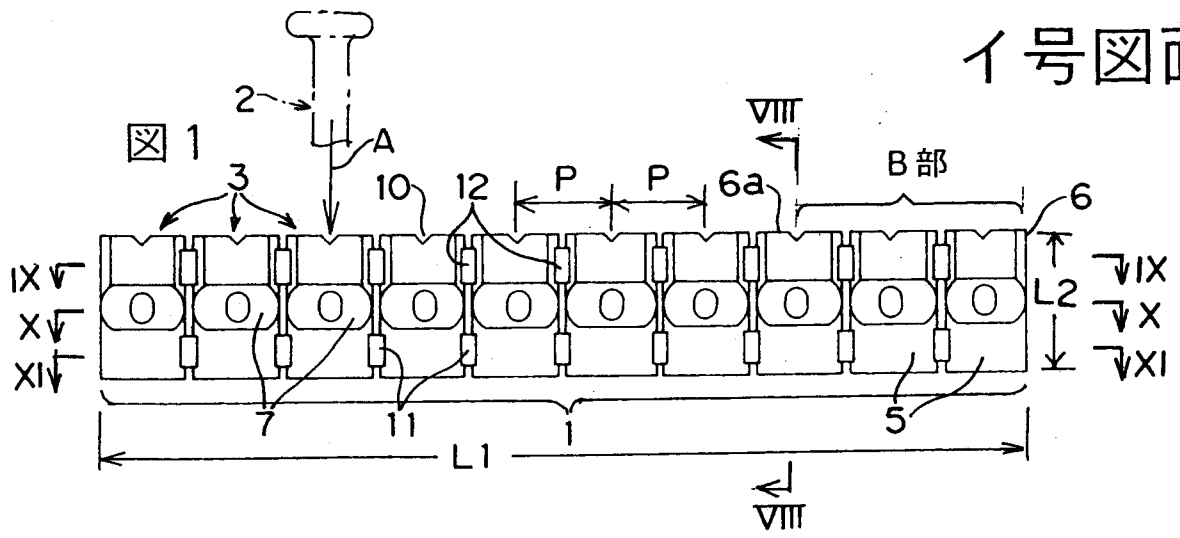


図 9

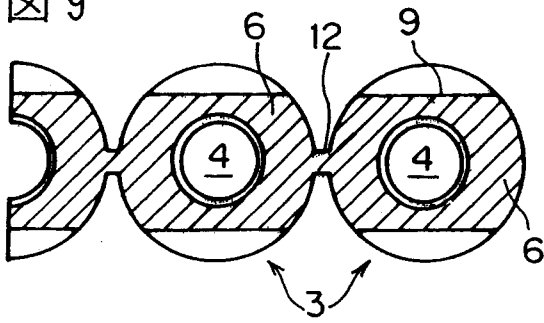


図 7

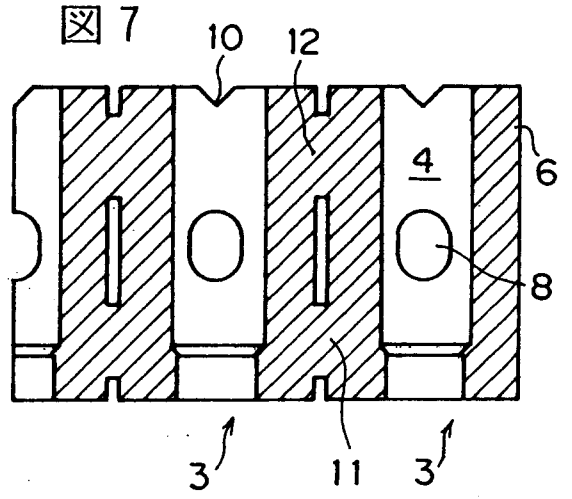


図 10

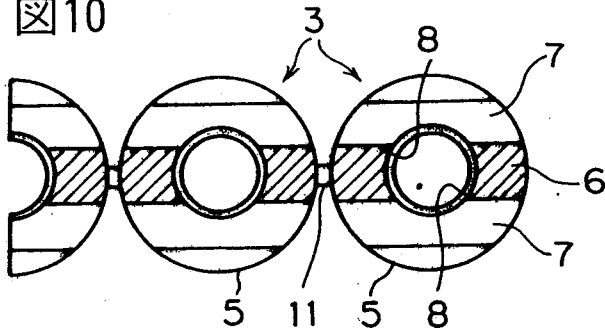


図 8

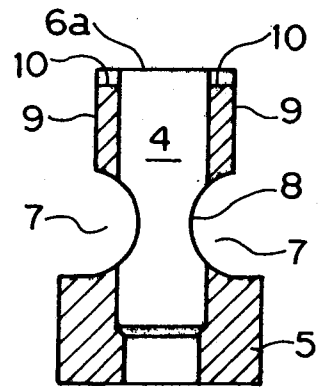
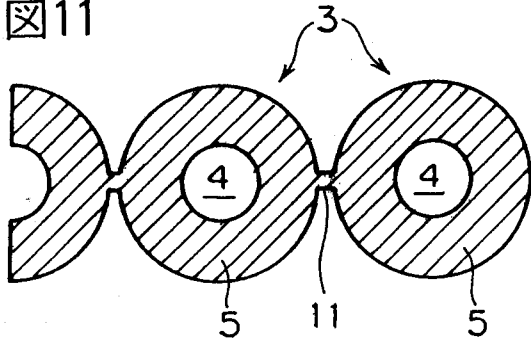


図 11



(別紙)

ロ号物件目録

ガスツール専用の連結ピンであって、ロ号図面に示すとおり、

1. イ号物件である合成樹脂製ストリップ1と、これに保持した10本のピン2とから成っており、
2. 各スリーブ3は、ピン2の差し込み方向から見て前方の部分に位置した円筒状の第1部分5と、この第1部分5と一体に繋がっている第2部分6とを有しており、
3. 各スリーブ3の各第2部分6には、当該第2部分6を第1部分5から区画する前後一对の凹所7が形成されており、
4. 各凹所7の奥部には、貫通孔4と連通した窓8が空いており、
5. 第2部分6のうち凹所7の上方の部分の前面と後面とは平坦面9になっており、このため第2部分6は平面視で略小判形の形態を成しており、
6. 各スリーブ2における第2部分6の上端面6aには、スリーブ3の並び方向と直交した方向に延びる一对のV形の溝10が形成されており、
7. 隣合ったスリーブ3の第1部分5は下側ブリッジ部11で連結され、隣合ったスリーブ3の第2部分6は上側ブリッジ部12で連結されており、
8. スリーブ3の並び方向に沿った全長L0は約67mm、各スリーブ3の軸方向の長さL2は約10mm、第1部分5の外径D1は約6.5mmである、
9. 各ピン2は、基端部に頭部14が形成されたシャンク13を有しており、シャンク13の先端部13aは尖っており、かつ、シャンク13のうち頭部に連なる付け根部(首下部)13bは頭部14に向けて外径が大きくなるテーパ状になっており、
10. ピン2には、シャンク13のうち先端部13aと付け根部13bとの間が同一径であるストレートピン(図1~図6)と、シャンク13のうち先端部13aと付け根部13bとが頭部側の大径部13'と先端側の小径部13''とを有して径違いになっている段付きピン(図7~図12)とがあり、ストレートピンには、全長L3が約23mmと20mmとの2種類があり、段付きピンは全長が約23mmであり、

ストレートピン及び段付きピンとも、頭部 1 4 の外径 D_2 は約 6.5 mm であり、ストレートピンにおけるシャンク 1 3 の基本外径 D_3 は約 2.6 mm であり、段付きタイプでは、大径部 1 3' の基本外径 D_4 は約 2.6 mm、小径部 1 3" の基本外径 D_5 は約 2.4 mm である、という構成を備えている、ガスツール専用の連結ピン。

【備考】

- (1). この種の連結ピン 2 取引では、一般に、ピン 2 は頭部 1 4 を除いたシャンク 1 3 の長さ L_4 を長さ（呼び長さ）として表示しており、ロ号物件では、全長（ L_3 ）が 23 mm のものは 22 mm と表示され、全長が 20 mm のものは 19 mm と表示されている。

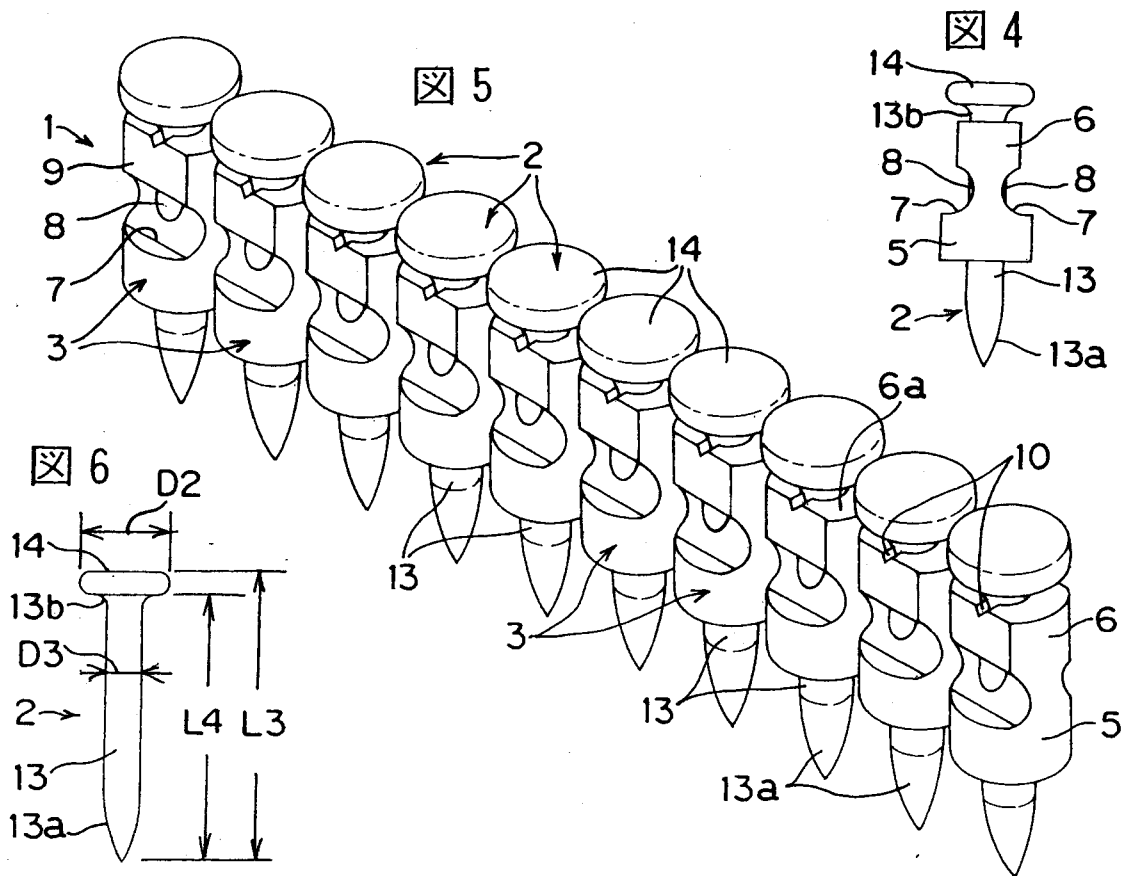
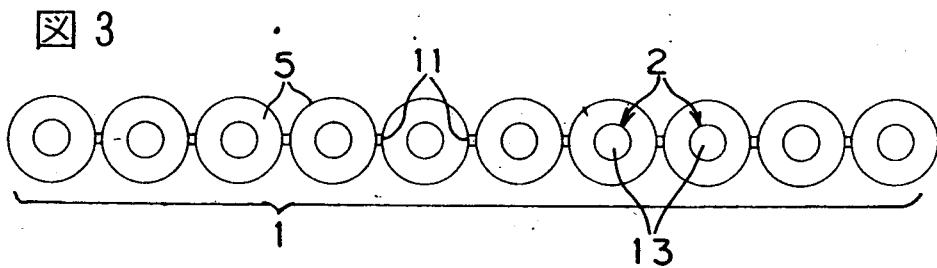
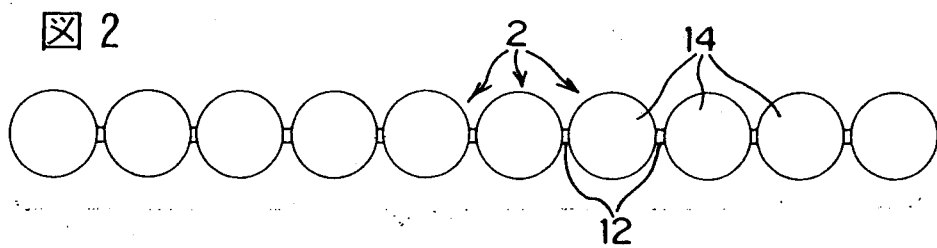
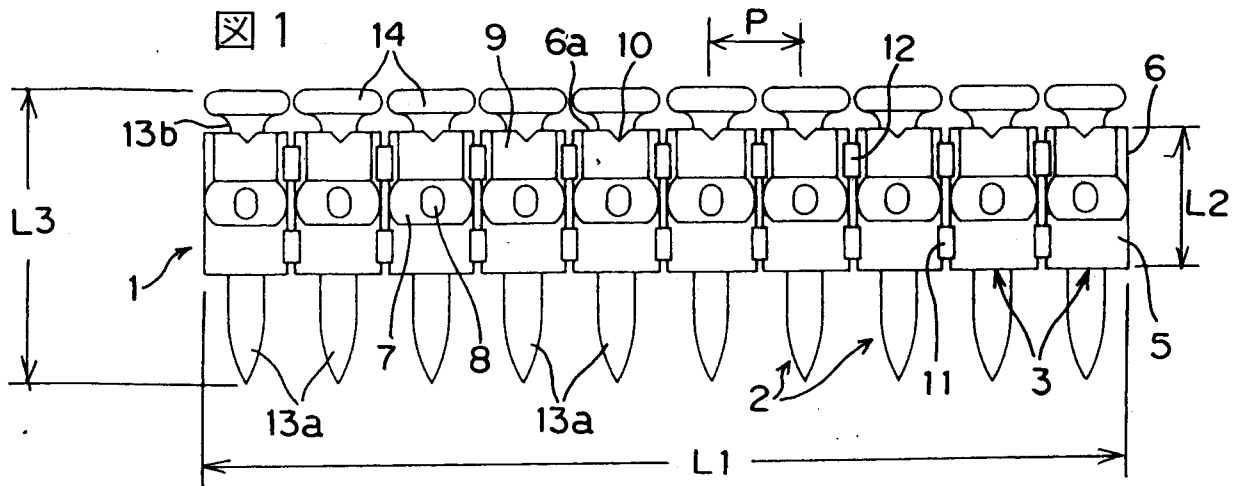
口号図面説明書

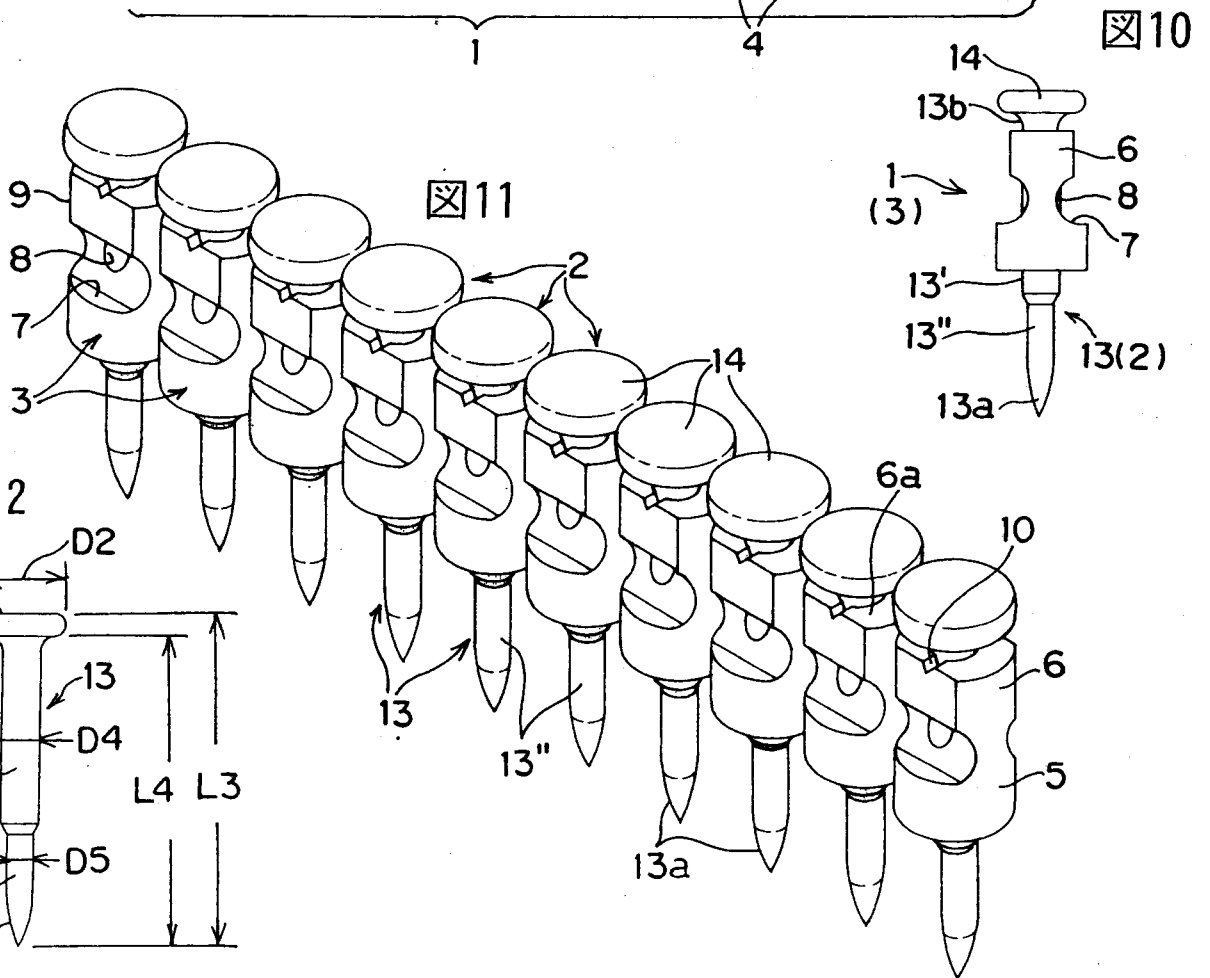
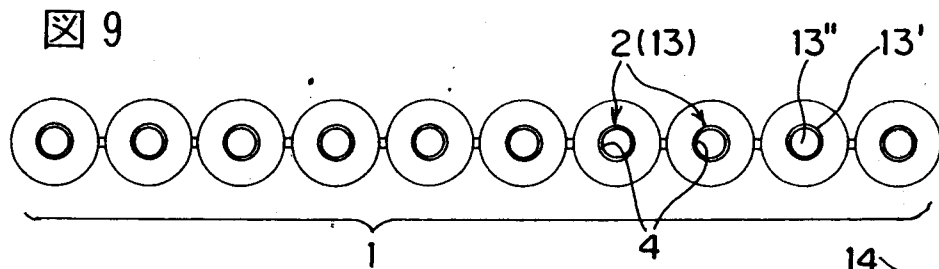
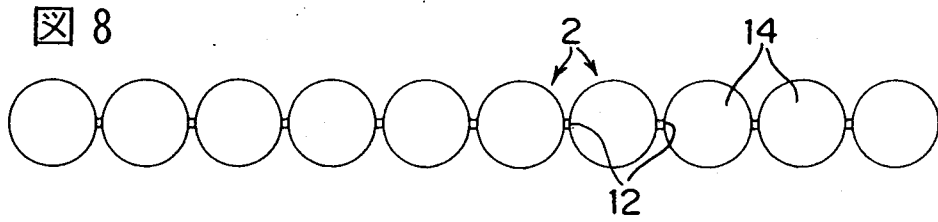
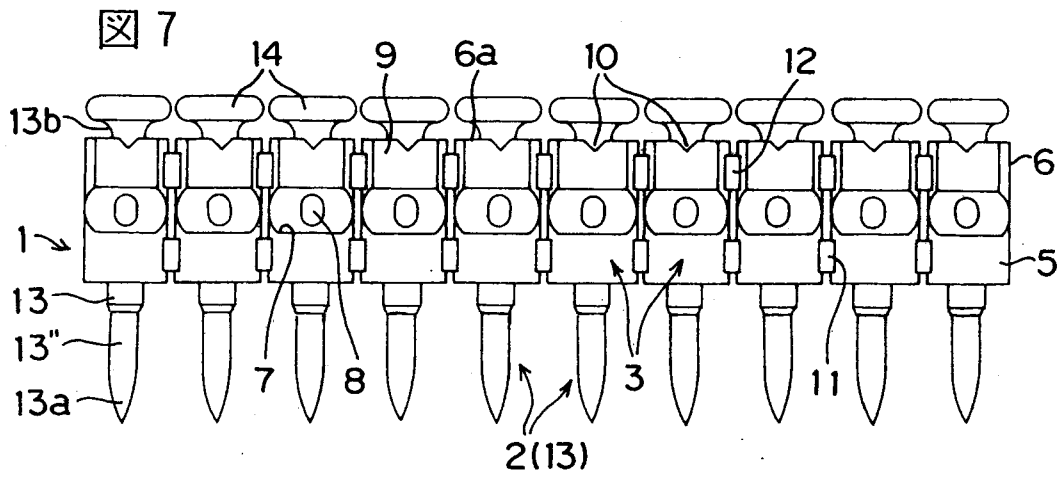
- 図1は、ストレートピンを備えた連結ピンの正面図である。
図2は、ストレートピンを備えた連結ピンの平面図である。
図3は、ストレートピンを備えた連結ピンの底面図である。
図4は、ストレートピンを備えた連結ピンの側面図である。
図5は、ストレートピンを備えた連結ピンの側面図である。
図6は、ストレートピンの正面図である。
図7は、段付きピンを備えた連結ピンの正面図である。
図8は、段付きピンを備えた連結ピンの平面図である。
図9は、段付きピンを備えた連結ピンの底面図である。
図10は、段付きピンを備えた連結ピンの側面図である。
図11は、段付きピンを備えた連結ピンの側面図である。
図12は、段付きピンの正面図である。

背面図は正面図と同一、左右側面図は同一である。

符号の説明

- | | | | | | |
|------|-----------|------|--------------|---|------|
| 1 | ストリップ | 2 | ピン | 3 | スリーブ |
| 4 | 貫通孔 | 5 | スリーブの第1部分 | | |
| 6 | スリーブの第2部分 | 6 a | 上端面 | | |
| 7 | スリーブの凹所 | 8 | スリーブの窓 | | |
| 9 | 平坦面 | 10 | スリーブの上端面のノッチ | | |
| 11 | 下ブリッジ部 | 12 | 上ブリッジ部 | | |
| 13 | シャンク | 13 a | 先端部 | | |
| 13 b | 付け根部 | 13' | 段付きピンの大径部 | | |
| 13'' | 段付きピンの小径部 | 14 | ピンの頭部 | | |





(別紙)

ハ号物件目録

- ガスツール専用のガスカートリッジであって、ハ号図面に示すとおり、
1. ホ号物件であるボンベ16と、ニ号物件である定量ノズル17と、ボンベ16に装着されるスペーサ18とから成っており、
 2. ボンベ16は、底付きの金属筒体の開口部に金属製蓋板を巻き締めによって取付けてなるもので、巻き締め部16aの内側は凹所19になっており、
 3. ボンベ16における凹所19の中心部には、ボンベ16の頂面と略同じ位置まで突出した凸部20が形成されており、凸部20の中心から吐出筒21が露出しており、
 4. 吐出筒21を除いたボンベ16の全長L5は約107mm、ボンベ16の外径D10は約31.5mm、巻き締め部19の外径D7は約32.5mm、吐出筒21の外径D8は約4mmであり、
 5. 定量ノズル17は合成樹脂製であり、ボンベ16の頂面に重なる平面視略長方形のベース部22、ベース部22から下向きに突出した2本の足部23、ベース部22の一方の短辺部から上向きに突出した壁部24、ベース部22の上面と壁部24とに一体に繋がった尾根状部25とを備えており、
 6. ベース部22は平面視でボンベ16を横切る方向に長く延びており、ベース部22のうち壁部24と反対側の端部22aは、平面視でボンベ16の外周と同じ曲率の円弧状端部になっており、
 7. 一对の足部23の外周面には、ボンベ16の凹所19に内周面に形成された内向き突条に弾性に抗して嵌まり込む外向きの係合突起26が形成されており、
 9. 尾根部25はベース部22と同じ方向に延びており、
 10. 壁部24からは注出筒27が突出しており、注出筒27は尾根部25の軸心と同心状に配置されており、
 11. 定量ノズル17は、注出筒27を除いた全長L6が約32mm、横幅L7は約17.5mm、足部23を除いた前高H1は約18mm、足部23の下向き突出寸法L9は約7mm、ベース部22の厚さT1は約4mm、ベース

部 2 2 の上面からの尾根状部 2 5 の基本高さ H_2 は約 1 0 mm、壁部 2 4 の最大厚さ T_2 は約 6 mm、尾根状部 2 5 の長さ L_{10} は約 1 8 . 5 mm、注出筒 2 7 の外径 D_9 は約 4 mm、注出筒 2 7 の突出寸法 L_{11} は約 5 mm であり、

12. スペーサ 1 8 は円筒状であり、上部はポンベ 1 6 が嵌まる大径部 1 8 a になっており、内部には、ポンベ 1 6 を支持する段部 2 8 とリブ 2 9 とが形成されており、

13. スペーサ 1 8 の全長 L_{12} は 3 6 . 5 mm、大径部 1 8 a の長さ (高さ) l_{13} 約 1 3 mm、スペーサ 1 8 の基本外径 D_{10} は約 3 1 mm、大径部 1 8 a の外径 D_{11} は約 3 3 mm であり、

14. スペーサ 1 8 を嵌めた状態でのポンベ 1 6 の全長 L_{14} (吐出筒 2 1 を除く) は約 1 4 1 mm である、

という構成を備えている、ガスツール専用のガスカートリッジ。

【備 考】

(1). ポンベの外周面には取り扱い説明等の表示が施されている。

ハ号図面説明書

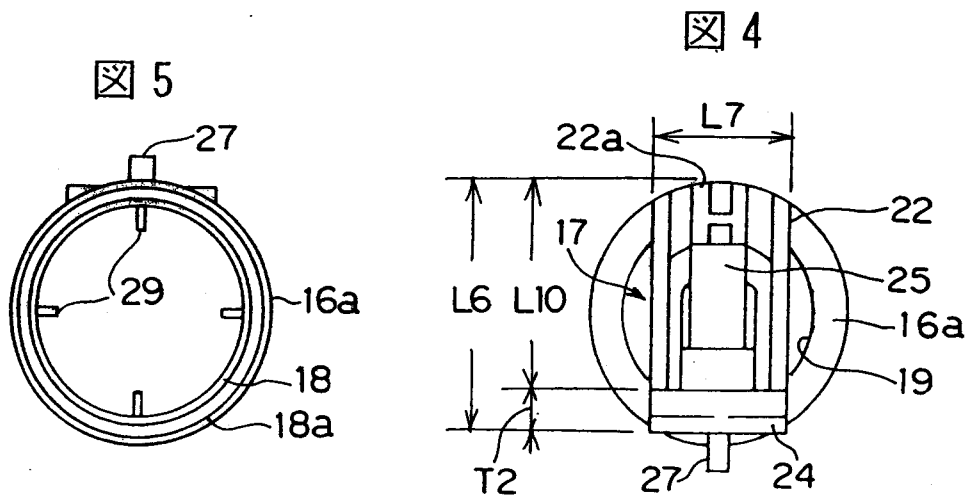
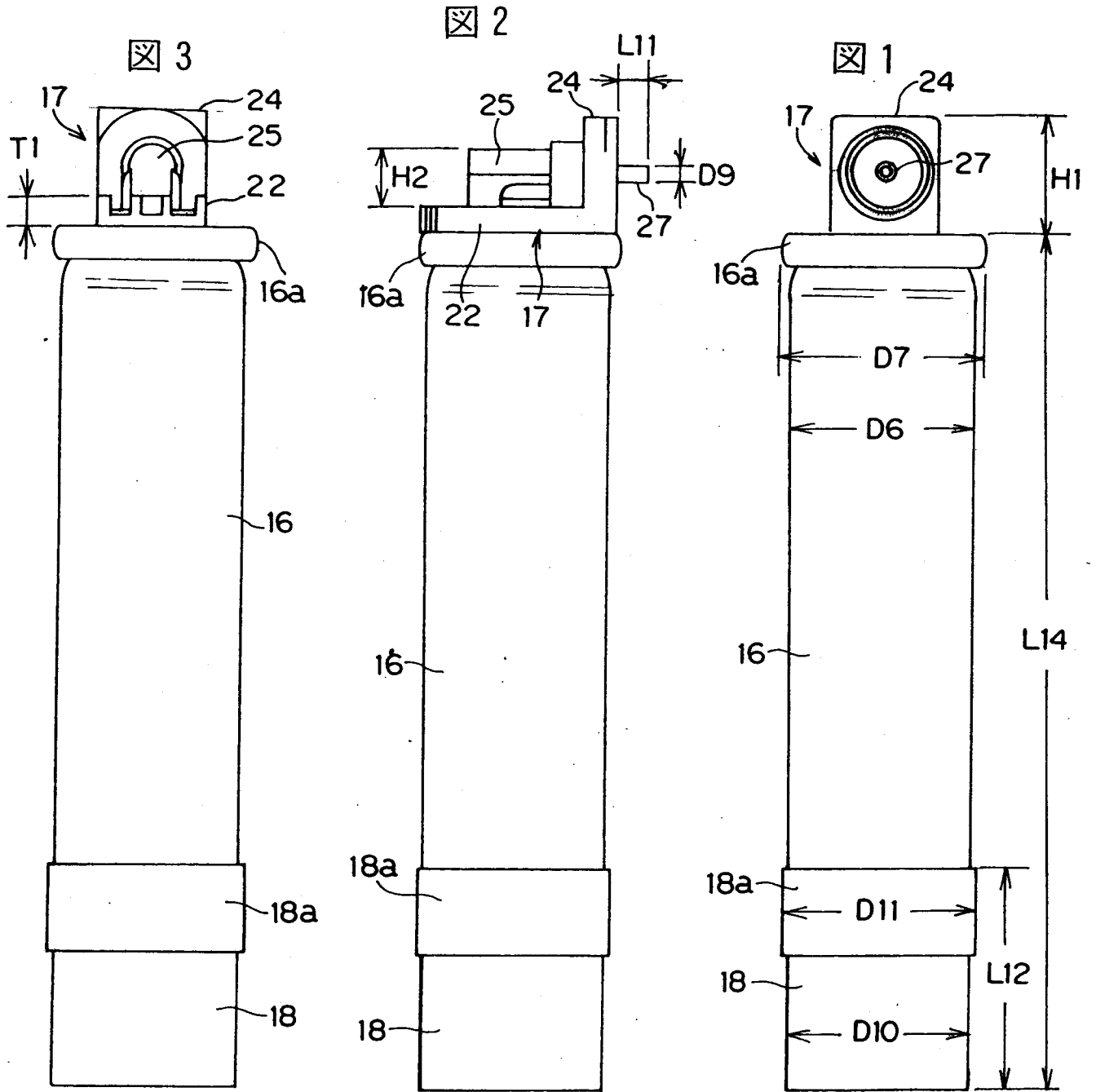
- 図 1 は、ガスカートリッジの正面図である。
図 2 は、ガスカートリッジの左側面図である。
図 3 は、ガスカートリッジの背面図である。
図 4 は、ガスカートリッジの平面図である。
図 5 は、ガスカートリッジの底面図である。
図 6 は、ガスカートリッジを前方から見た斜視図である。
図 7 は、ガスカートリッジを後方から見た斜視図である。
図 8 は、ガスカートリッジの分離斜視図である。
図 9 は、スペーサの平面図である。
図 10 は、図 9 の X-X 視断面図である。

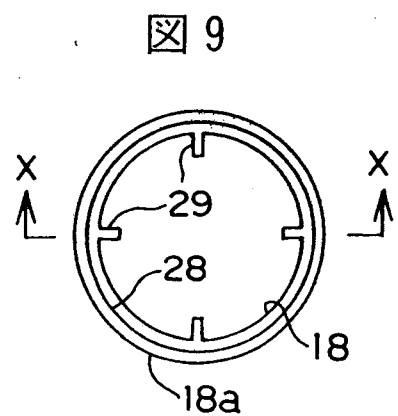
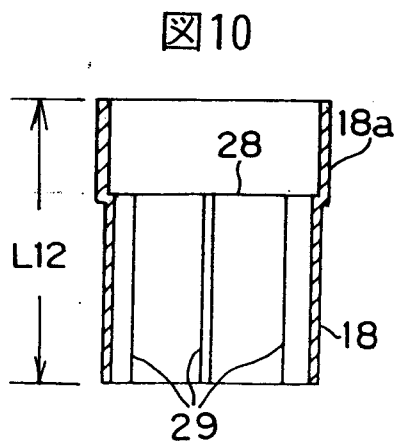
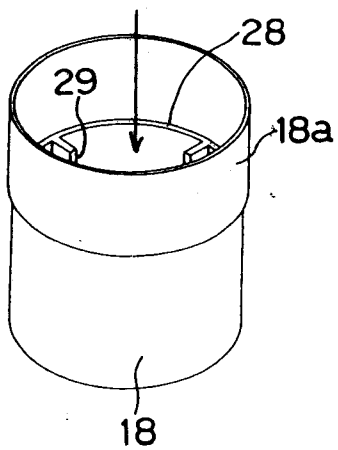
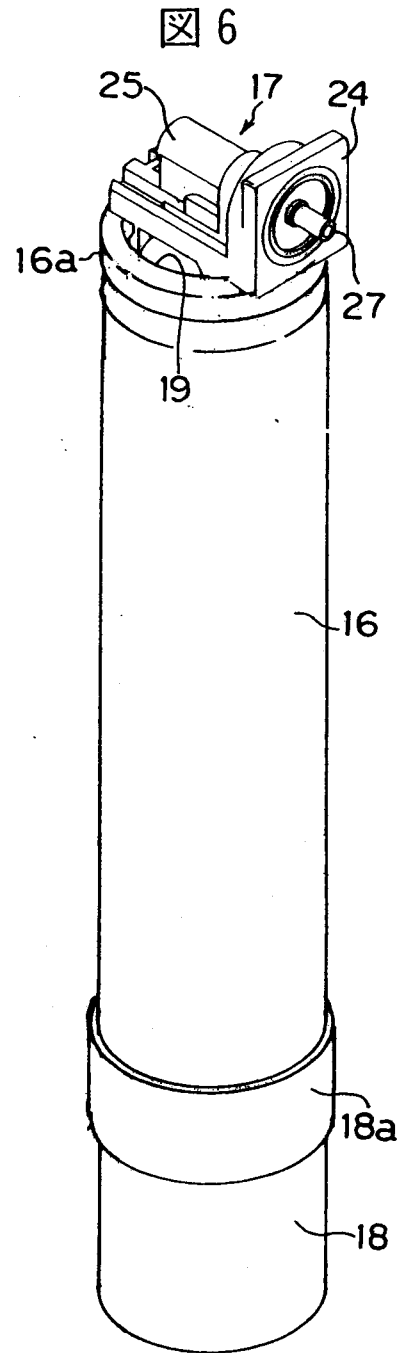
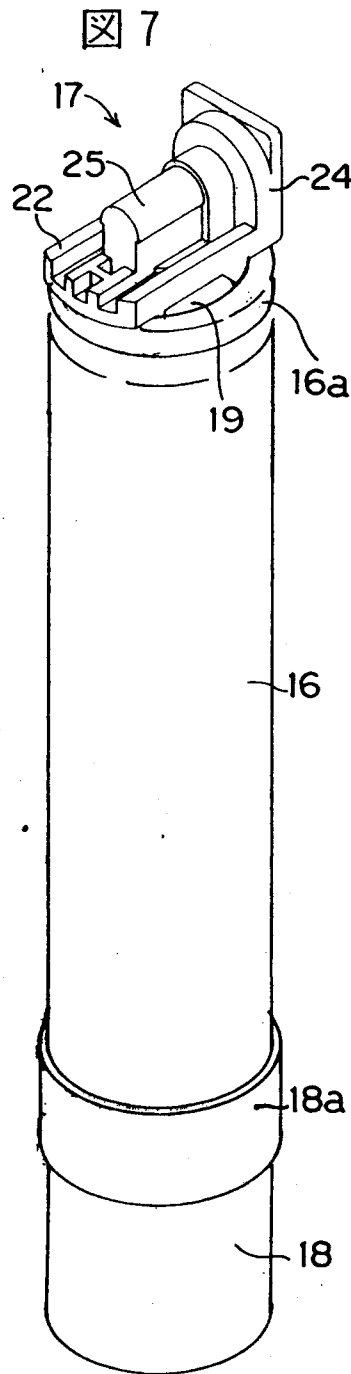
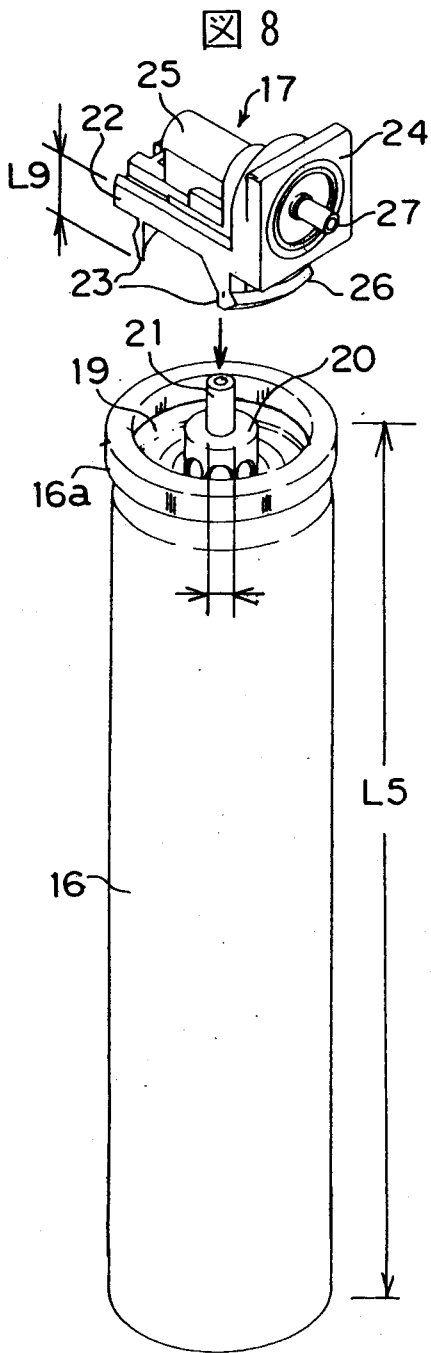
右側面図は左側面図と対称である。

符号の説明

1 6	ボンベ	1 6 a	巻き締め部	1 7	定量ノズル
1 8	スペーサ	1 9	凹所	2 0	凸部
2 1	吐出筒	2 2	ベース部	2 3	足部
2 4	壁部	2 5	尾根部	2 6	係合突起
2 7	注出筒	2 8	スペーサの段部	2 9	スペーサのリブ

八号図面





(別紙)

二号物件目録

ガストール専用のガスカートリッジであるハ号物件を構成する定量ノズルであって、二号図面に示すとおり、

1. 大部分が合成樹脂製から成っており、ポンベの頂面に重なる平面視略長方形のベース部 2 2、ベース部 2 2 から下向きに突出した 2 本の足部 2 3、ベース部 2 2 の一方の短辺部から上向きに突出した壁部 2 4、ベース部 2 2 の上面と壁部 2 4 とに一体に繋がった尾根状部 2 5 とを備えており、
2. ベース部 2 2 は平面視でポンベ 1 6 を横切る方向に長く延びており、ベース部 2 2 のうち壁部 2 4 と反対側の端部 2 2 a は、平面視でポンベ 1 6 の外周と同じ曲率の円弧状端部になっており、
3. 一对の足部 2 3 の外周面には、ポンベ 1 6 の凹所 1 6 に内周面に形成された内向き突条に弾性に抗して嵌まり込む外向きの係合突起 2 7 が形成されており、
4. 尾根部 2 5 はベース部 2 2 と同じ方向に延びており、
5. 壁部 2 4 からは、注出筒 2 8 が突出しており、注出筒 2 8 は尾根部 2 5 の軸心と同心状に配置されており、
6. 定量ノズル 1 7 は、注出筒 2 8 を除いた全長 L 6 が約 3 2 mm、横幅 L 7 は約 1 7. 5 mm、足部 2 3 を除いた前高 H 1 は約 1 8 mm、足部 2 3 の下向き突出寸法 L 9 は約 7 mm、ベース部 2 2 の厚さ T 1 は約 4 mm、ベース部 2 2 の上面からの尾根状部 2 5 の基本高さ H 2 は約 1 0 mm、壁部 2 4 の最大厚さ T 2 は約 6 mm、尾根状部 2 5 の長さ L 1 0 は約 1 8. 5 mm、注出筒 2 8 の外径 D 9 は約 4 mm、注出筒 2 8 の突出寸法 L 1 1 は約 5 mm である、

という構成を備えている、ガストール専用のガスカートリッジである二号物件を構成する定量ノズル。

【備考】

- (1). ポンベの外周面には取り扱い説明等の表示が施されている。

二号図面説明書

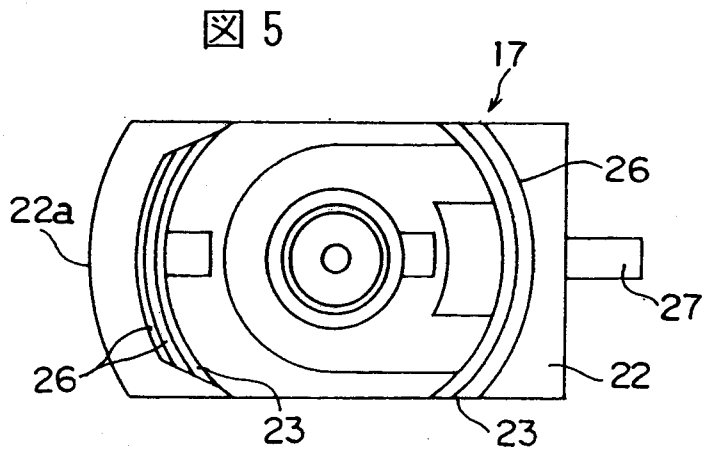
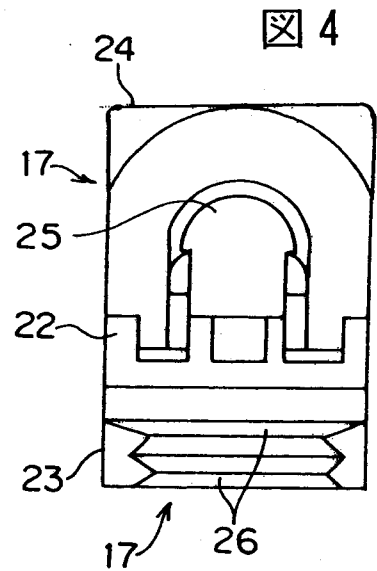
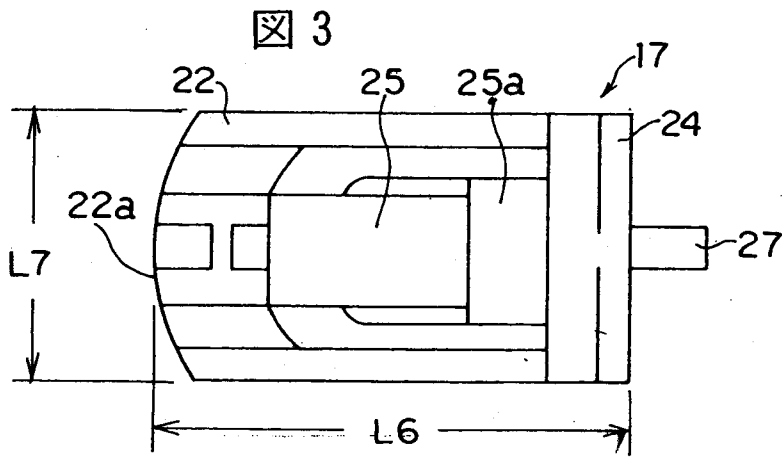
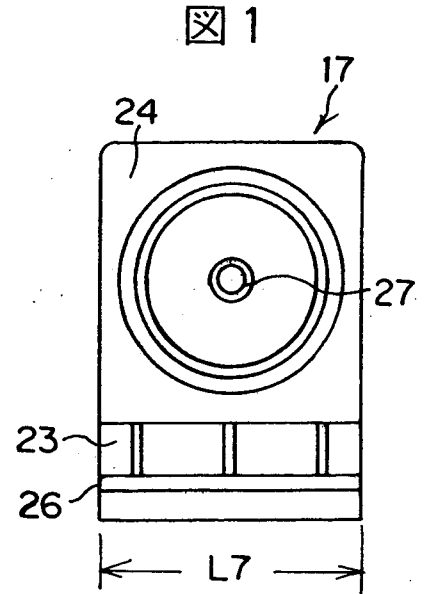
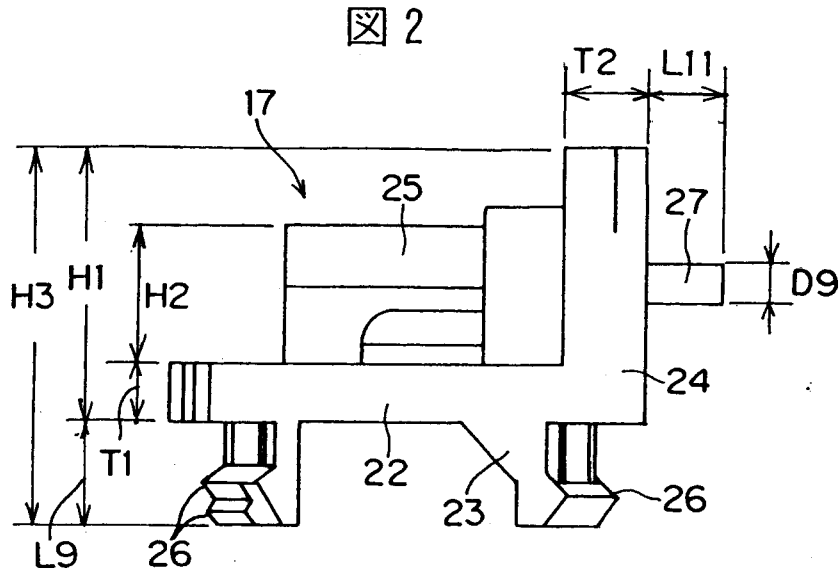
- 図 1 は、定量ノズルの正面図である。
図 2 は、定量ノズルの左側面図である。
図 3 は、定量ノズルの背面図である。
図 4 は、定量ノズルの平面図である。
図 5 は、定量ノズルの底面図である。
図 6 は、定量ノズルを前方から見た斜視図である。
図 7 は、定量ノズルを後方から見た斜視図である。
図 8 は、定量ノズルを裏返して前方から見た斜視図である。
図 9 は、定量ノズルを裏返して後方から見た斜視図である。

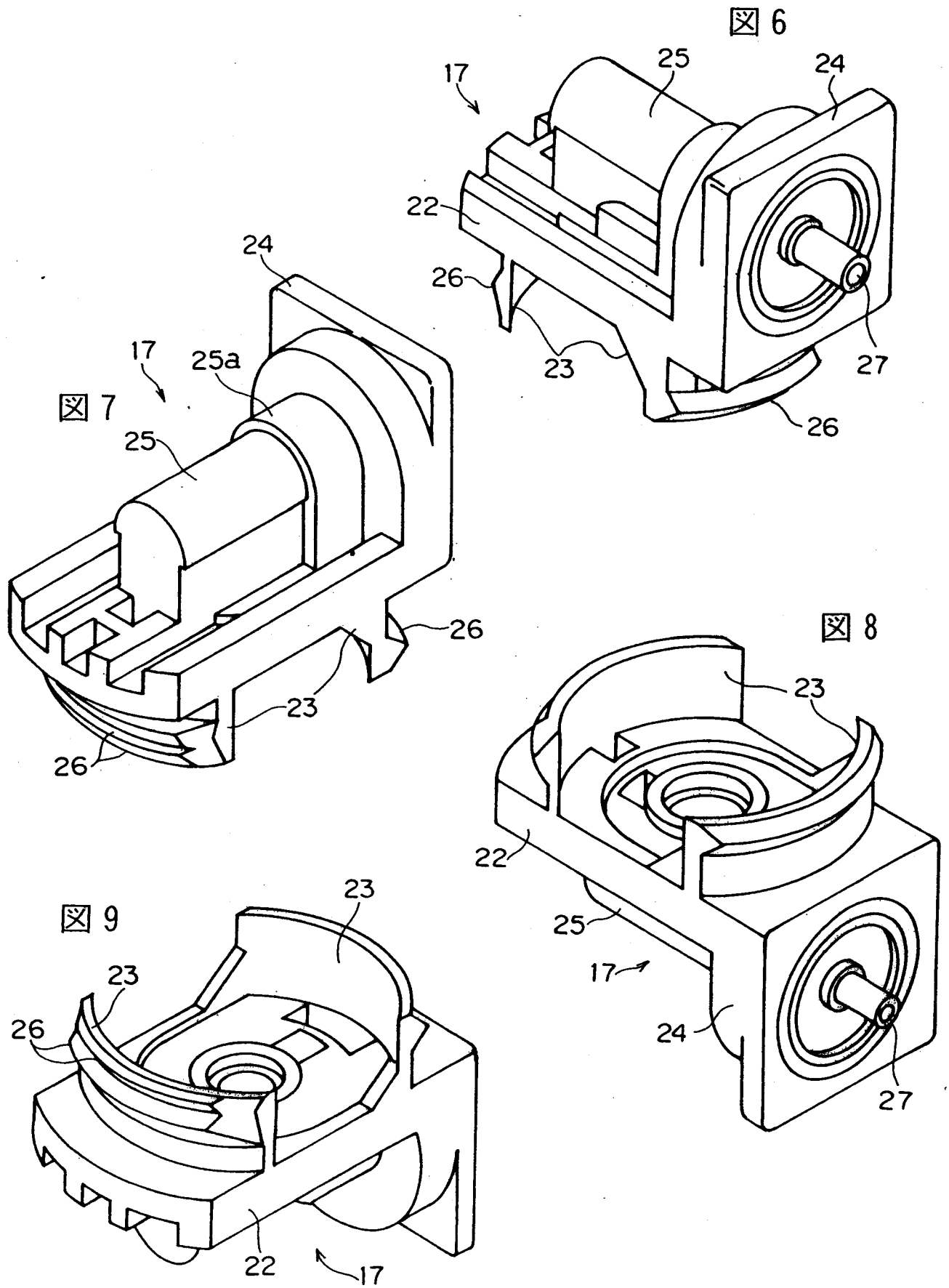
右側面図は左側面図と対称である。

符号の説明

1 7	定量ノズル	1 8	スペーサ	1 9	凹所
2 0	凸部	2 1	吐出筒	2 2	ベース部
2 3	足部	2 4	壁部	2 5	尾根部
2 6	係合突起	2 7	注出筒		

二号図面





(別紙)

ホ号物件目録

ガスツール専用のガスカートリッジであるホ号物件を構成するボンベ16であって、ホ号図面に示すとおり、

1. 底付きの金属筒体の開口部に金属製蓋板を巻き締めによって取付けてなるもので、巻き締め部16aの内側は凹所19になっており、
 2. 凹所19の中心部には、ボンベ16の頂面と略同じ位置まで突出した凸部20が形成されており、凸部20の中心から吐出筒21が露出しており、
 3. 吐出筒21を除いた全長L5は約107mm、胴部の外径D6は約31.5mm、巻き締め部16aの外径D7は約32.5mm、吐出筒21の外径D8は約4mmである、
- という構成を備えている、ガスツール専用のガスカートリッジであるホ号物件を構成するガスボンベ。

【備考】

- (1). ボンベの外周には取り扱い説明等の表示が施されている。

ホ号図面説明書

図 1 は、ポンベの正面図である。

図 2 は、ポンベの斜視図である。

図 3 は、ポンベの平面図である。

図 4 は、ポンベの底面図である。

背面図及び左右側面図は同一である。

符号の説明

1 6 ポンベ

1 6 a 巻き締め部

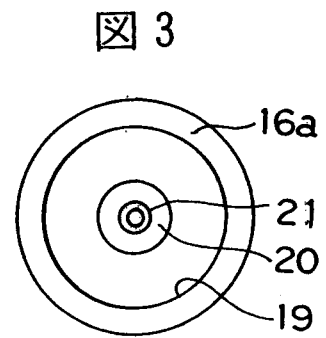
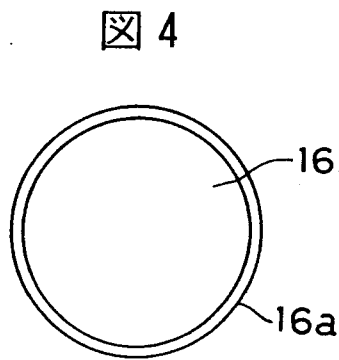
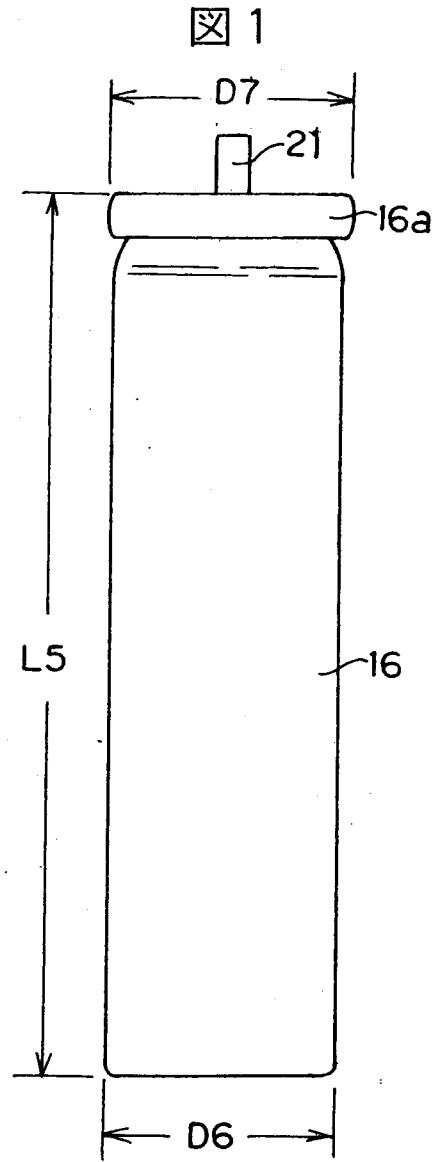
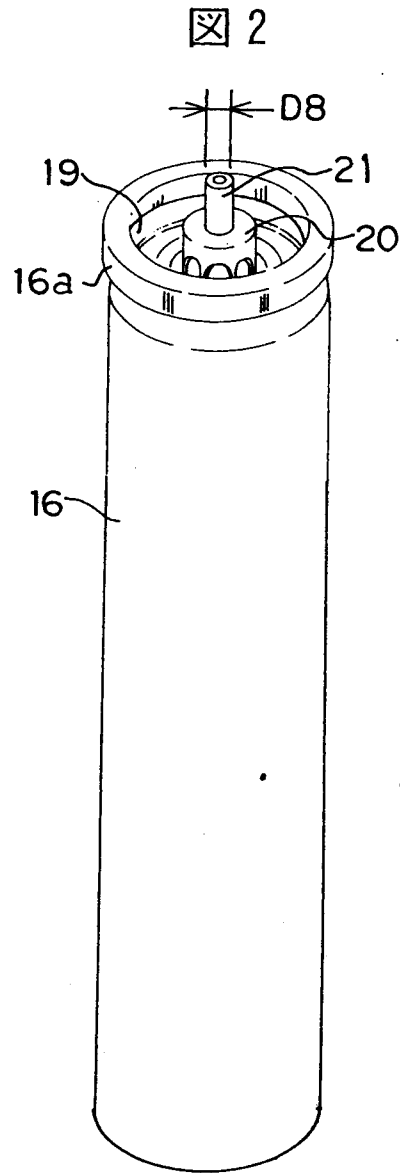
1 7 定量ノズル

1 9 凹所

2 0 凸部

2 1 吐出筒

木号図面



(別紙)

へ号物件目録

- ガスツール専用の連結ピンであって、へ号図面に示すとおり、
1. ト号物件である合成樹脂製ストリップ1と、これに保持した10本のピン2とから成っており、
 2. ストリップ1は、並列配置された10個のスリーブ3を有して各スリーブ3に1本のピン2が嵌まるようになっており、
 3. 各スリーブ3は、ピン2の差し込み方向から見て前方に位置した円筒状の第1部分5と手前に位置した円筒状の第2部分6と両者を繋ぐ一対の板状部9とを有しており、
 4. 各スリーブ3における一対の板状部9はスリーブ3の並び方向に振り分けた状態に配置されていて、板状部9の箇所は軸心側に凹んだ凹所7になっている、
 5. 一対の板状部9の間は第1部分5及び第2部分6の貫通穴4に連通した窓8になっていてこの窓8からピン2が露出しており、
 6. 隣り合ったスリーブ3は、第1部分5に連続した第1ブリッジ部11と、板状部9のうち第2部分6に寄った部分に連続した第2ブリッジ部12とで連結されており、
 7. スリーブ3の並び方向に沿ったストリップ1の全長L1は約67mm、各スリーブ3の軸方向の長さL2は約10mm、第1部分5の外径D1は約6.5mm、第2部分6は第1部分5よりも小径であり、
 8. 各ピン2は、基端部に頭部14が形成されたシャンク13を有しており、シャンク13の先端部は尖っており、
 9. ピン2には、シャンク13のうち先端部と付け根部との間が同一径であるストレートピン(図1～図6)と、シャンク13が頭部側は大径部13'で先端側は小径部13''の径違いになっている段付きピン(図7～図8)

とがあり、

10. ストレートピン及び段付きピンとも、頭部14の外径D2は約6.5 mmで、全長は20～24 mm程度である、
という構成を備えている、ガスツール専用の連結ピン。

へ号図面説明書

図 1 は、ストレートピンを備えた連結ピンの正面図である。

図 2 は、ストレートピンを備えた連結ピンの平面図である。

図 3 は、ストレートピンを備えた連結ピンの底面図である。

図 4 は、ストレートピンを備えた連結ピンの側面図である。

図 5 は、ストレートピンを備えた連結ピンの斜視図である。

図 6 は、ストレートピンの正面図である。

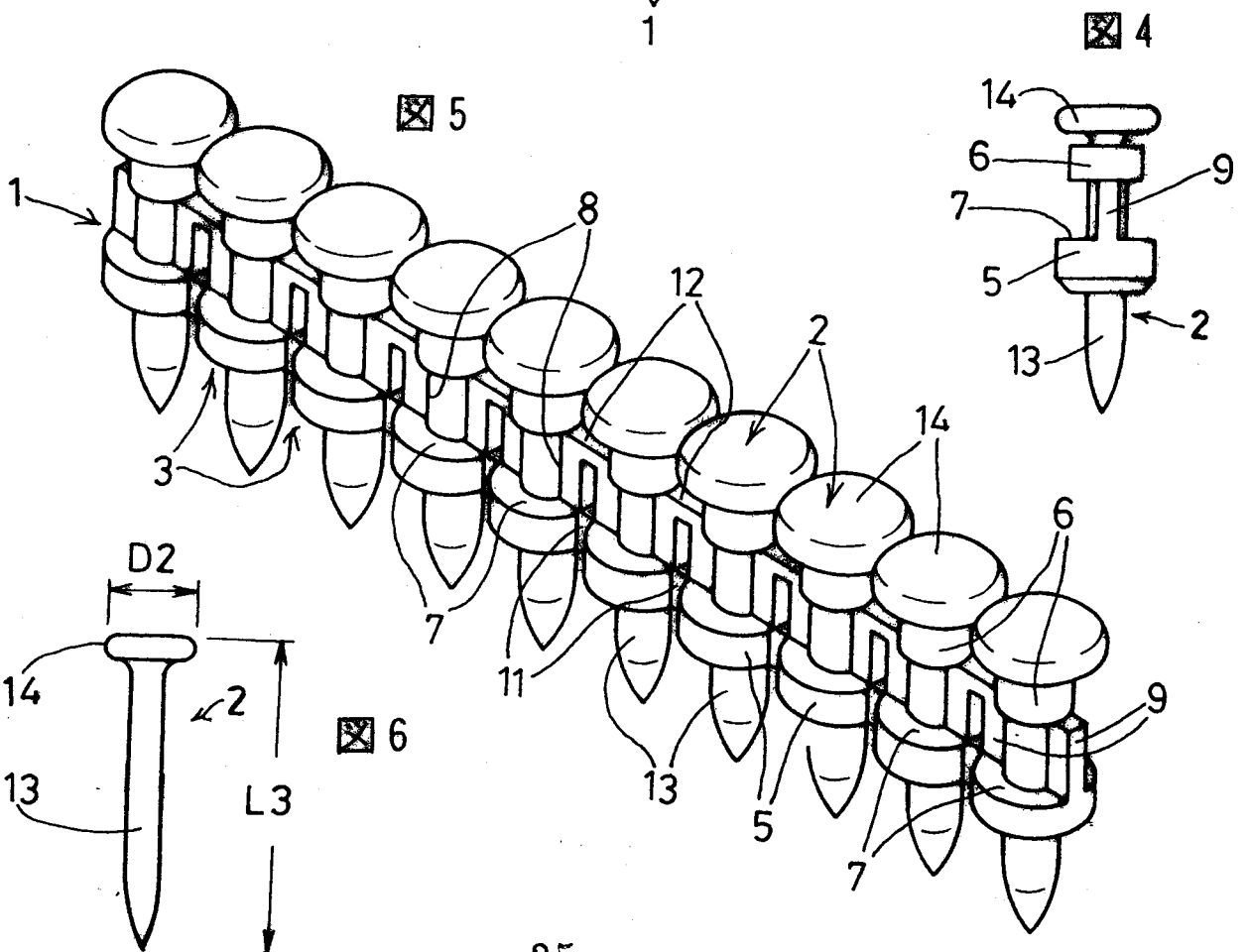
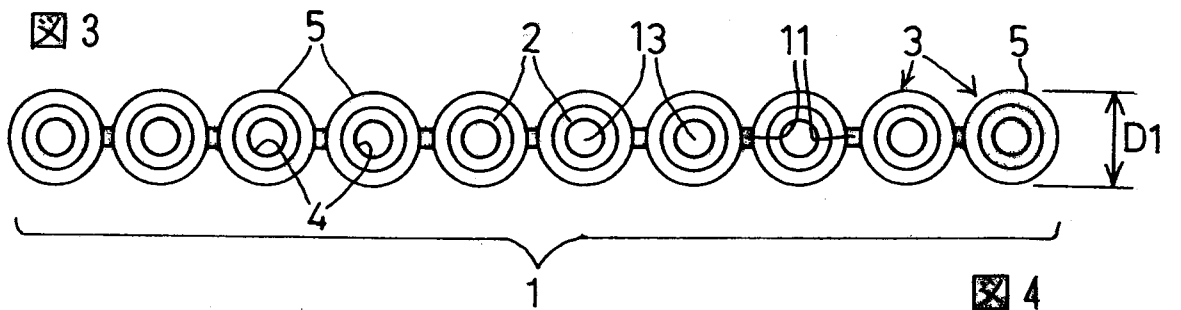
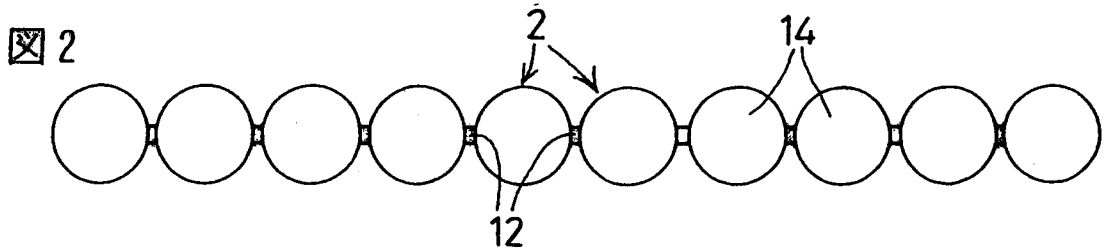
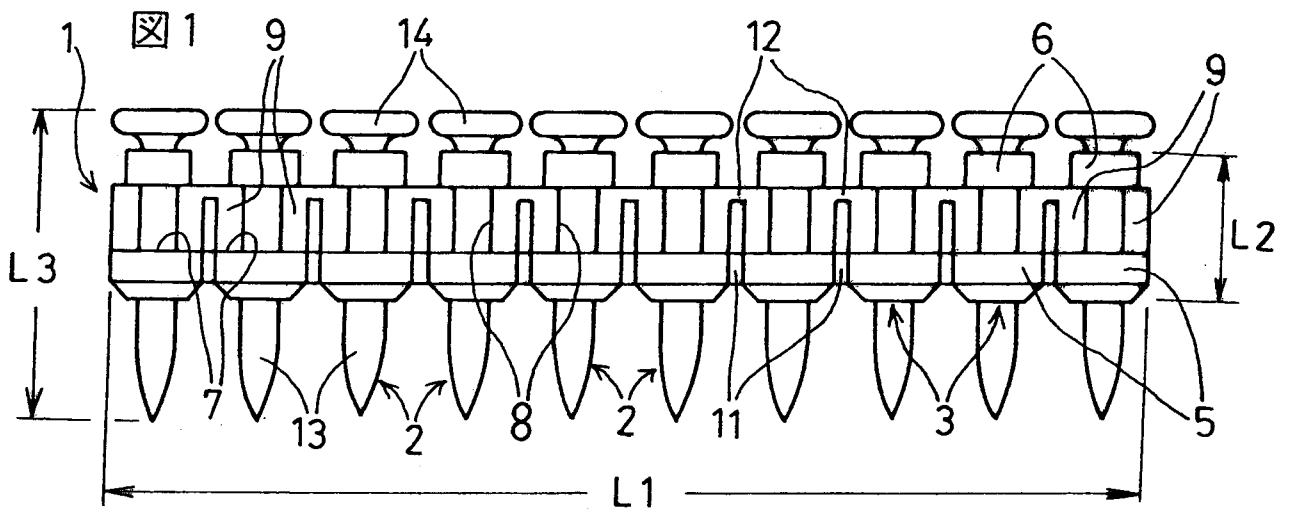
図 7 は、段付きピンを備えた連結ピンの正面図である。

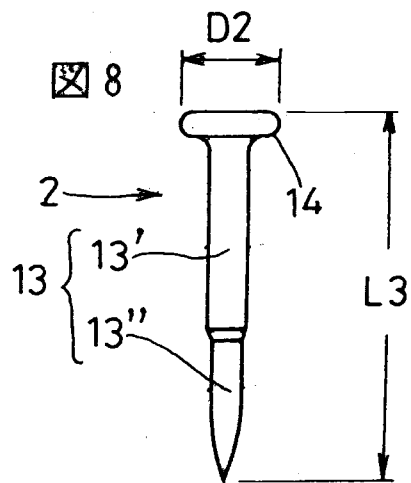
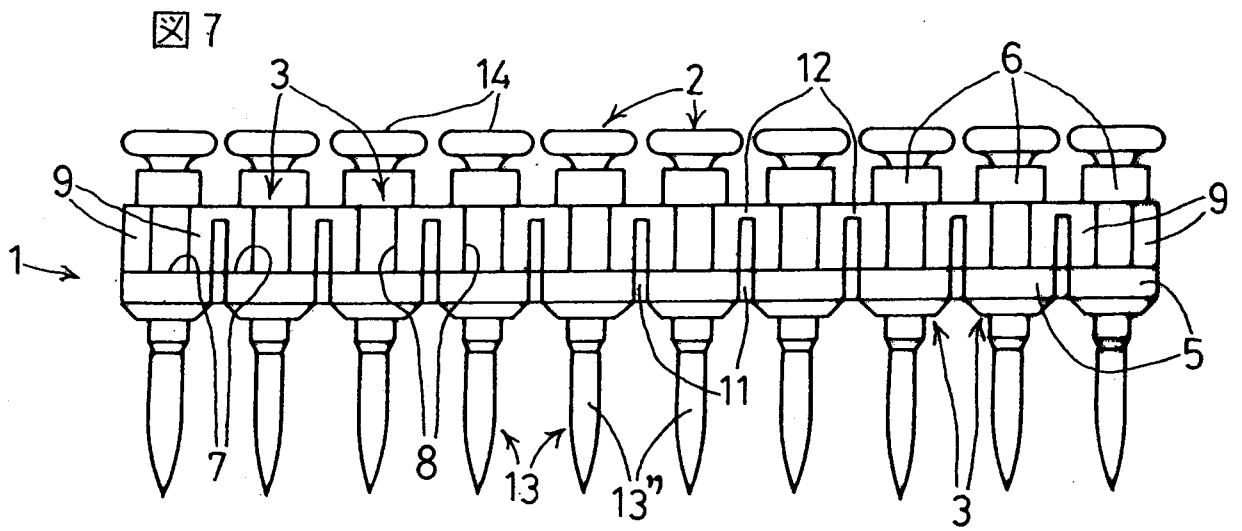
図 8 は、段付きピンの正面図である。

背面図は正面図と同一、左右側面図は同一である。

符号の説明

1	ストリップ	2	ピン	3	スリーブ
4	貫通孔	5	スリーブの第 1 部分		
6	スリーブの第 2 部分	7	スリーブの凹所		
8	スリーブの窓	9	板状部		
1 1	下ブリッジ部	1 2	上ブリッジ部		
1 3	シャンク	1 3'	段付きピンの大径部		
1 3''	段付きピンの小径部	1 4	ピンの頭部		





(別紙)

ト号物件目録

ガスツール専用の連結ピンであるへ号物件を構成する合成樹脂製のストリップ1であって、ト号図面に示すとおり、

1. 1本のピンが嵌まるスリーブ3を10個有しており、
 2. 各スリーブ3は、ピンの差し込み方向(図1の矢印A方向)から見て前方に位置した円筒状の第1部分5と手前に位置した円筒状の第2部分6と両者を繋ぐ一対の板状部9とを有しており、
 3. 各スリーブ3は、ピン2の差し込み方向から見て前方に位置した円筒状の第1部分5と手前に位置した円筒状の第2部分6と両者を繋ぐ一対の板状部9とを有しており、
 4. 各スリーブ3における一対の板状部9はスリーブ3の並び方向に振り分けた状態に配置されていて、板状部9の箇所は軸心側に凹んだ凹所7になっている、
 5. 一対の板状部9の間は第1部分5及び第2部分6の貫通穴4に連通した窓8になっており、
 6. 隣り合ったスリーブ3は、第1部分5に連続した第1ブリッジ部11と、板状部9のうち第2部分6に寄った部分に連続した第2ブリッジ部12とで連結されており、
 7. スリーブ3の並び方向に沿ったストリップ1の全長L1は約67mm、各スリーブ3の軸方向の長さL2は約10mm、第1部分5の外径D1は約6.5mm、第2部分6は第1部分5よりも小径である、
- という構成を備えている、ガスツール専用の連結ピンを構成するストリップ。

ト号図面説明書

図1は、ストリップの正面図である。

図2は、ストリップの平面図である。

図3は、ストリップの底面図である。

図4は、ストリップの側面図である。

図5は、ストリップの斜視図である。

背面図は正面図と同一、左右側面図は同一である。

符号の説明

1	ストリップ	3	スリーブ
4	貫通孔	5	スリーブの第1部分
6	スリーブの第2部分	6 a	上端面
7	スリーブの凹所	8	スリーブの窓
9	スリーブの板状部	1 1	下ブリッジ部
1 2	上ブリッジ部		

